

令和7年度 第2回安曇野市自転車活用推進協議会 会議概要

| | | |
|---|-----------|--|
| 1 | 会 議 名 | 安曇野市自転車活用推進協議会 |
| 2 | 日 時 | 令和7年12月25日（木） 午前10時から午後11時30分まで |
| 3 | 会 場 | 安曇野市役所 会議室306 |
| 4 | 出 席 者 | 新井委員、太田委員、平林委員、宮崎委員、小林可奈子委員、松島委員、藤澤委員、小林毅委員、伴野委員、佐藤委員、二木委員 |
| 5 | 欠 席 者 | 半崎委員、磯野委員、熊井委員 |
| 6 | 市出席者(事務局) | 黒岩部長、丸山課長、中田係長、佐々木主査 |
| 7 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 8 | 傍聴人 | なし |

協 議 事 項 等

【次第】

- 1 開会
- 2 商工観光スポーツ部長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 役員の選出について
- 5 会長、副会長のあいさつ
- 6 会議事項
 - (1) 淡路島サイクリングコースの視察報告について
【資料1－1】、【資料1－2】、【淡路島サイクリングマップ】
 - (2) 協議会の今後の日程について
【資料2】
 - (3) その他
- 7 閉会

役員の選出について

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 安曇野市自転車活用推進協議会設置要綱第5条の規定により会長・副会長は委員の互選により選任となっている。立候補される方は挙手をお願いする。 立候補者がいないようなので、事務局案として会長に新井委員、副会長に太田委員を推薦したいがいかがか。 |
| 全委員 | 異議なし。 |

【会議事項】

(1) 淡路島サイクリングコースの視察報告について

<事務局から説明> 【資料1－1】、【資料1－2】、【淡路島サイクリングマップ】

| | |
|-----|--|
| 委員1 | 以前の協議会で、県外者が自転車を持参して車で安曇野市に来られた際の駐車スペースを用意した方がよいかとの意見をさせていただき、実際に市に無料の駐車スペースを確保していただいた。淡路島に駐車場はあるが、無料駐車場は無いことを考えると安曇野市の無料駐車場確保は来訪者にとって大きなメリットとなる。この無料駐車場をさらにPRすべきである。 |
| 事務局 | 前回の協議会でもさらにPRしていくべきとのご意見をいただいたことから、観光協会様に相談し、現在はHPに同無料駐車場についての説明リンクを掲示していただいている。さらなるPRについて今後事務局でも検討を行う。 |
| 委員2 | 先日新聞に、短い距離の安曇野市サイクリングコースを望む声があるという記事が掲載されていた。市民向けということで20～30キロのコース設定となっているが、一方でアワイチ、ビワイチ、イズイチといった100キロを超える長距離のコースを走破することで達成感を得る人もいる。長距離を走破したい人向けにも例えばアズミノイチといったような長距離コースを設定してみるのはいかがでしょうか。 |
| 事務局 | 参加委員からの意見を聞かせていただきたい。 |
| 委員2 | A、B、Cコースをつなげて新たなネーミングのコースを作成するなど、既存のものを活かした仕 |

組みづくりをしてみるのも良いのではないかと。

また、既存コースに設置してある矢羽根について、道路端にあるため土砂で隠れてしまったり、矢羽根が示す先が道路の真ん中を通っていたりする。子どもが道路の真ん中を通ったりすると危ないと感じたことから、矢羽根の現状についてこの場でご報告をさせていただいた。

事務局 議会答弁でも、既存のコースを活用しながら短いコース設定について検討したいと発言させていただいた。今後皆様から意見を聞きながらコースを検討していく。その中で長距離のコースについてもご意見を頂きたいと思う。

矢羽根は、定期的にメンテナンスを行っているが、ずれている部分については担当部局と協議しながら対応していく。

会長 実際交通事故発生への報告はあるか。

事務局 承知しておりません。

事務局 先ほど委員1から意見があった情報発信の方法について、皆様からより有効なツール等があれば教えていただきたい。

委員1 宿泊関係を確認するために観光協会のHPを確認する人が多いと感じる。協会HPで安曇野市内の宿泊のキャパシティが分かるようなシステムがあればよりHPを見る人が増加すると思われる。この点を積極的に絡めていければと感じる。

委員3 今日このような意見があったことは観光協会内部で共有したい。

委員4 サイクリングマップについて、市が作成していない安曇野市内のサイクリングマップを複数持っているが、内容が似通っている。ロゲイニングに参加すると今まで知らなかった町のことを改めて知ることができる。市民向けに短いマップを作るのであれば、市内のことを市民が改めて知ることができるようなコースにした方がよいと感じる。また、梓川から高瀬川に向けた100キロ前後のコースがあってもよいと思うので、長短二つのコースを検討していくのが良いのではないかと。

事務局 検討を行う。

(2) 協議会の今後の日程について

＜事務局から説明＞【資料2】

委員5 第二次計画策定の出発点は市民アンケートだと感じる。ここにいる委員の皆様の考えや専門家の意見など、スタートに向けた部分をどうしていくかについて教えていただきたい。

事務局 これまでの協議会で挙げた課題や現状等を再度確認したうえ、計画策定の専門業者とともに市民アンケートを進めていく予定である。また、市民アンケートとは別に委員の皆様からご意見をいただきながら進めていきたいと考えている。どのような対象にどのようなアンケートを取ったらいいかということは改めてご相談をさせていただきたい。

委員5 市民の皆様の意見や、公募で協議会に参加していただいている委員の方の意見も反映していくことが重要だと感じる。

(3) その他

事務局 ○安曇野市サイクリングコースプロモーションビデオの作成について

安曇野市サイクリングコースの利用促進のため、スポーツ推進課でプロモーションビデオを製作した。安曇野市HPや公式YouTubeチャンネルにおいて公開しており、安曇野市観光協会様や一般社団法人MSJ様のご協力により、同協会、同法人のHPにおいても現在公開をさせていただいている。委員の皆様には、同ビデオを積極的に話題にし、広めていただきたい。

今後も、これまで協議会の課題となっていた「安曇野市サイクリングコースの利用促進」について委員の皆様と協力して進めていきたいと考えているため、ご理解とご協力をお願いしたい。

- 委員 5 ○アルプス安曇野センチュリーライドについて
改めてイベント内容についてご紹介をさせていただきたい。
このイベントは4月と5月に開催するイベントであり、次回で18回目となる。松本をスタートして白馬で折り返して160キロ（センチュリーマイル）を走るためセンチュリーライドという名前である。他地域でも開催されている。交通ルールを守って走っていただき、レースではないため交通規制もない。
以前松本市で参加者にアンケートをとったところ、1泊が51%、2泊が38%という結果となり、最大4泊の方もいらっしゃった。延べ宿泊数は約3,200泊となり、地域への経済効果は非常に大きいものである。参加者に話を聞くと、土曜日に受付をして松本に宿泊し、日曜日は午後5時頃までかけてイベントに参加し、イベント後は安曇野や大町周辺の温泉に泊まって帰るという参加者が多いように感じる。
やはり地域に行きたくなる魅力のあるイベントなどきっかけづくりが重要である。一度魅力を知るとその後も異なる季節で来ていただき、なじみの宿に泊まるといった継続的に来ていただく仕組みが出来る。この地域が好きになり移住したという方もいらっしゃった。
株式会社未来図は、イベントをきっかけとして、この地域へのリピーターになる人が増え、そのことが地域経済の発展につながればと考えてイベントを開催している。この地域はとても魅力が高い地域である。
自転車活用推進計画では、普段乗らない人をターゲットにしている部分が多いと思うが、高価な自転車を持参してイベントに参加している人の目線も取り入れてみてはどうかと思う。来年マウンテンバイクコースにて全国大会が開かれるのはすごいことであるので、大会単発で終わらせずその後も盛り上がっていただけるよう行政支援をお願いしたい。
- 委員 2 道路交通法では自転車は1列でないと走れないと決まっているが、安曇野市では例えば並走しても可とする区間を設けてみると人を呼び込めるきっかけとなるのではないかと感じる。
- 委員 5 世界的に見たら並走はよくあることであり、日本では1列としている。もし並走ができる区間があれば良いのではないかと。
- 委員 4 ベルギーでは3列、4列が当たり前であり、自転車先進国（オランダ・ベルギー・デンマークなど）でも2列・3列が当たり前である。自転車専用道では3列・4列も見受けられる。
- 委員 2 いい景色に出会った時の感動など、側で他人と共有をしたいものだが、自転車だと縦列であり声が届かない。並走出来たら感動を共有できる。簡単に実現できるものではないが是非実現に向けた取組を行政にお願いしたい。
- 委員 1 ああ場所に行けば自転車で楽しく走れるといった場所を作れば、自然と人は集まるようになる。
- 副会長 拾ヶ堰沿いなどそのように整備してみてもどうか。
- 会長 歩行者天国のように規制をかけて、一時的に自由に走行できる区間などを設けてみても良いのではないかと。
- 事務局 非常に興味深い意見であるが、行政として行うとすると政治や国との絡みもあり非常にハードルが高い。特区を設けるという方法もあるが、別のアプローチの方法を考える必要があると感じる。

令和7年度 第2回 安曇野市自転車活用推進協議会 会議次第

令和7年12月25日(木)

午前10時から

会場：共用会議室 306

1 開 会

2 商工観光スポーツ部長あいさつ

3 自己紹介

4 役員の選出について

5 会長、副会長のあいさつ

6 会議事項

(1) 淡路島サイクリングコースの視察報告について

… 【資料1-1】、【資料1-2】、【淡路島サイクリングマップ】

(2) 協議会の今後の日程について

… 【資料2】

(3) その他

7 閉 会

令和 7 年 12 月 25 日

淡路島サイクリングコースの視察報告について

令和 4 年度に商工観光スポーツ部観光課・スポーツ推進課及び安曇野市観光協会が、当時検討していたサイクリングガイド育成や安曇野市サイクリングコースマップ制作に向け、淡路島サイクリングコース及び同コースにおけるガイド付きツアーの視察を行った。

その結果について下記のとおり報告する。

記

視察概要

シェアサイクル（E-BIKE）を利用してのガイド付きツアーを体験した。また、サイクリングコースの整備状況（矢羽根等）の視察を行った。

視察日時

令和 4 年 11 月 22 日(火)

午前 11 時～午後 2 時 ガイドツアー

午後 2 時～午後 3 時 ヒアリング

視察場所

兵庫県淡路市（対応店舗：CYCLISM AWAJI）

視察結果・所感

・事前にツアールート希望を店側が聞き取り、ルートプランニングを行った。今回は、安曇野市のポタリングをイメージし、平坦なルートで 3 時間のルートとした。

・E-BIKE などスポーツタイプの自転車に乗り慣れない方のために、装備の説明や柔軟体操、またハンドサインの確認を入念に行った。ママチャリに乗り慣れている人はスポーツタイプも同様に乗り込もうとし転倒してしまうことがあるようで、お客さん・自転車のためにも初心者向きの説明は重要であると感じた。

・道の整備（矢羽根や自転車通行帯）はあまりされておらず、道幅も狭い箇所が多いため、停止や注意、寄るといったハンドサインが重要となった。

・既に様々なサイクリングコースが設定されているが、淡路島を小さいと思い淡路島 1 周を

敢行される方もいる。結局時間内に戻れないこともあるようで、時間や距離の配分、またスポット説明などはガイドがいてくれる方が良いと感じた。

- ・今回ツアーをしていただいた店舗では、ガイドは1~2ヶ月に1回程の申し込みで、主はレンタサイクル業とのことであった。日本人よりもインバウンドの方に需要があるとのこと。

- ・今回視察した淡路島サイクリングコースは、島全体に様々なコースが存在し、自身の体力にあわせて走行するコースを設定する。島を一周する通称「アワイチ」は、全長150kmのコースとなる。今回利用した「淡路島サイクリングマップ」は、今年度作成中の安曇野市サイクリングマップの参考とさせていただく。

⇒安曇野市サイクリングコースマップにサイクルオアシスのアイコンや高低差などを記載する等、参考にさせていただいた。

- ・今回は20kmほどのツアーであったが、走ったコースは道幅も狭く、矢羽根や自転車通行帯などは設置されていなかった。兵庫県では「アワイチ」の距離看板の設置は進めているが、道路の整備は追いついていない。

- ・紙のマップでは細かいルートが案内できないためQRコードの併記があった。兵庫県が作成しているマップはRidewithGPSであったが、ツアーガイドからはGoogleMAPの方が使いやすと指摘があった。

⇒安曇野市サイクリングマップではグーグルマップでもコースを確認可能とし、マップにグーグルマップのQRコードを記載

- ・淡路島は道幅が狭いため、「自転車専用通行帯」は設置できず、矢羽根「自転車走行指導帯」の整備を今後進めていくとのこと。ガイドから、「矢羽根があることで、自動車の幅寄せは減少したと思うので有効ではないか」との意見があった。

⇒道路幅が狭い安曇野市でも、安曇野市サイクリングコース上の市道全てに矢羽根を設置することとした。

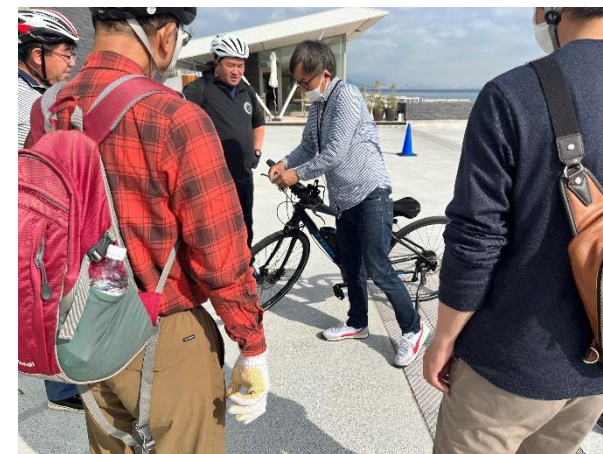
資料 1 - 2



サイクルショップ シクリズムアワジ



コース説明



自転車操作説明



レンタル E-BIKE



『アワイチ』案内看板



『アワイチ』案内看板

淡路島へのアクセス

淡路島へお越しの際は以下の交通をご利用ください。
(便数、所要時間等については、変更も予想されます)

高速船でお越しの方

運行区間 明石港⇄岩屋港 (約13分)

淡路ジェノバライン
http://www.jenova-line.co.jp/
TEL: 0799-72-0181

自転車は
30台まで乗船
可能です。
※小型船は5台まで



車でお越しの方

神戸方面から

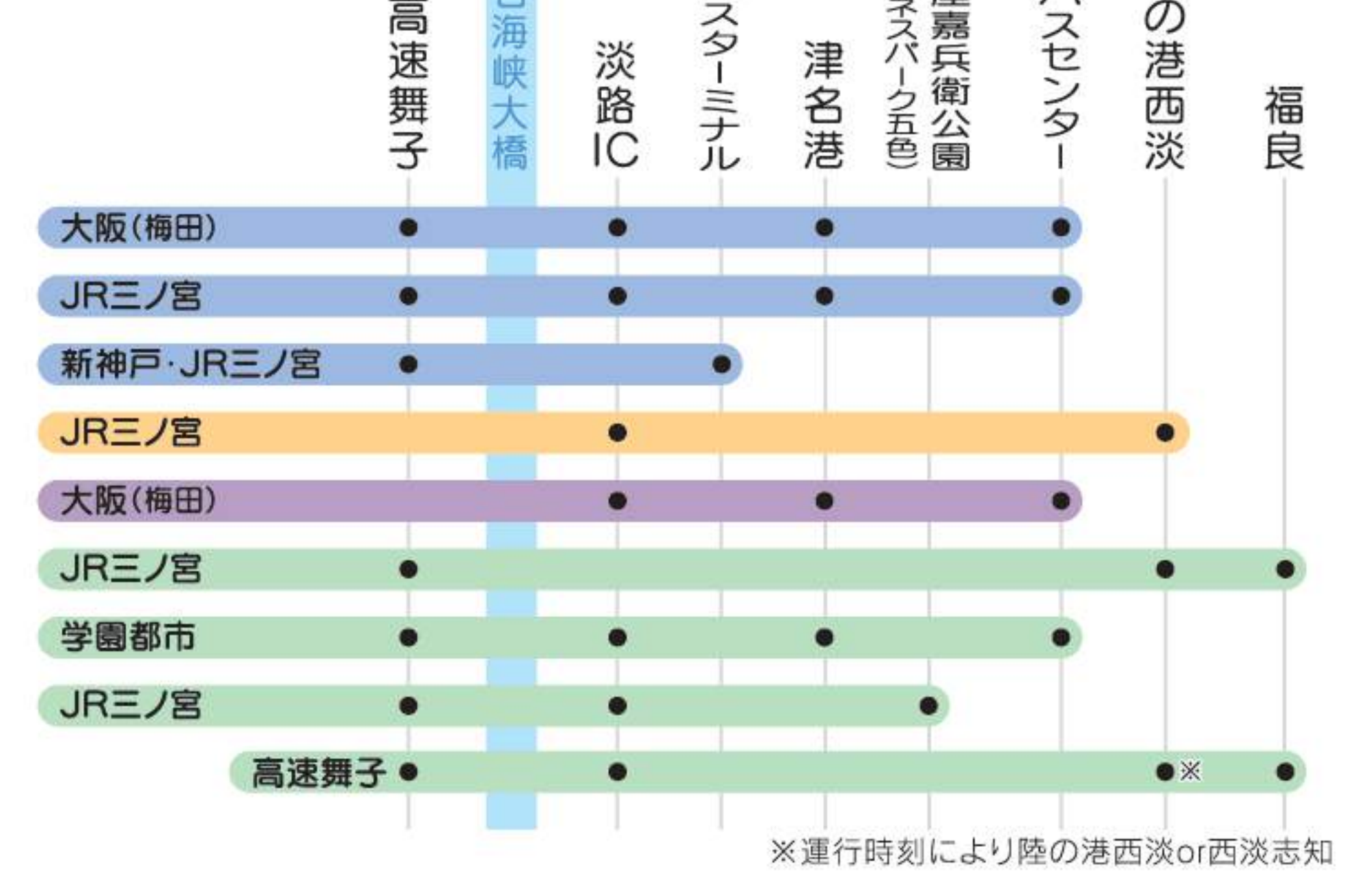


高速バスでお越しの方

※時間により一部バス停に停車しない場合があります。詳しくは各バス会社へ！

高速バス運行ルート R4.3月現在

神戸方面から



徳島方面から



鳴門海峡またぎ(自転車輸送)サービス

運行区間 小鳴門橋バス停 ⇄ 淡路島南ICバス停

http://asa-cycling.com/
TEL: 0799-22-0808

※要予約



●高速バスご利用のサイクリストの方へ

自転車の積載については、各バス会社へお問い合わせください。

●緊急の事故の場合

事故が発生した場合

119番【救急】

110番【警察】



●困ったときに役立つ情報



●メンテナンス対応店

・Bicycle Hub Awaji(バイシクル ハブ あわじ)

TEL: 0799-70-4252

淡路市浦657(道の駅 東浦ターミナルパーク内)

・CYCLISM AWAJI(シクリズムアワジ)

TEL: 090-6662-3196

淡路市夢舞台2番地28

(アクアイグニス淡路島内)

・Giro d' Awaji(ジロ・テ・アワジ)

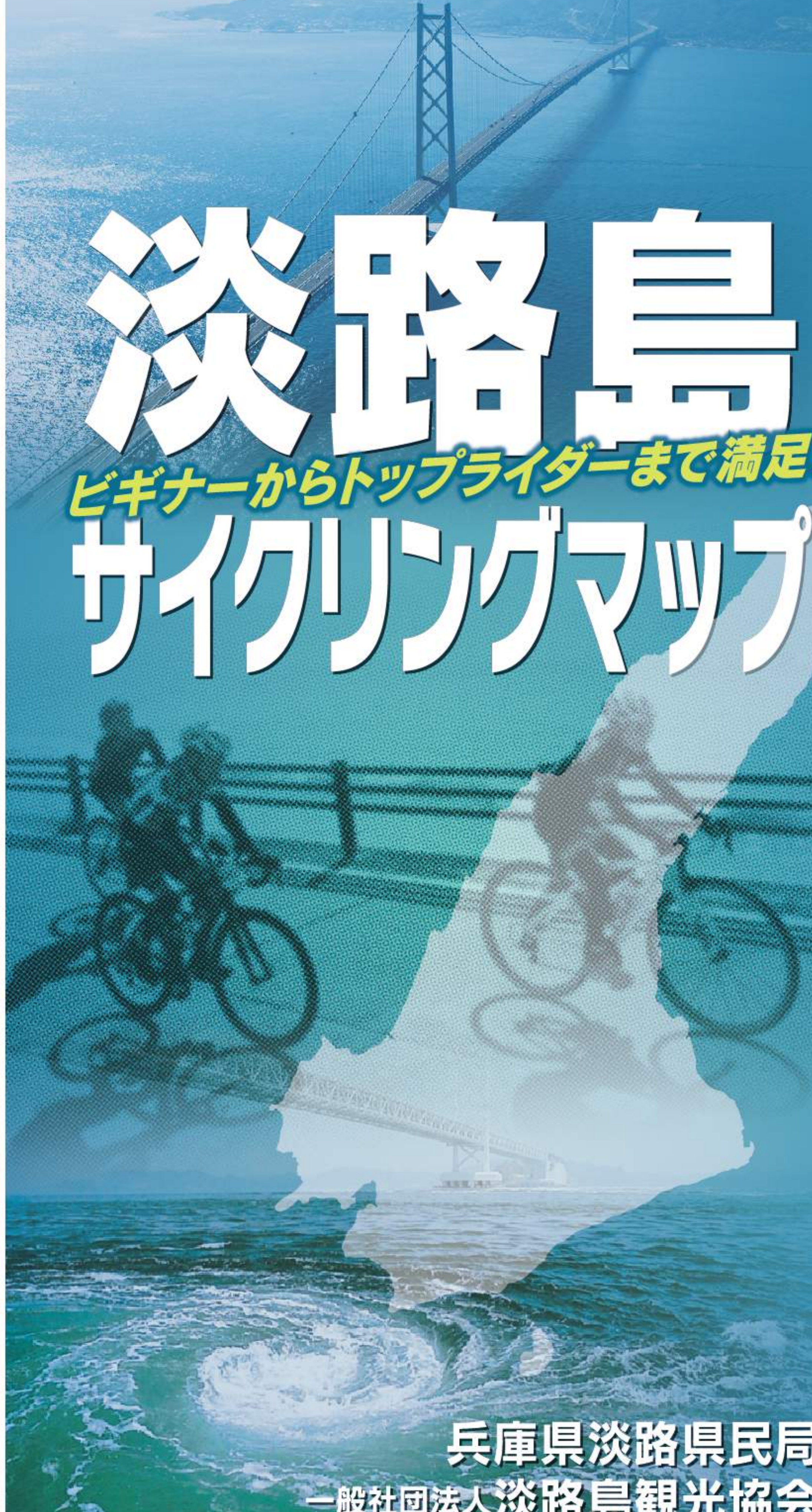
TEL: 0799-50-2411

南あわじ市福良甲1529-3(野口ビル1階)

2022年7月～

●安全にサイクリングを楽しむために

1. 1列走行
自転車は軽車両です。車道の左側を1列で走行しましょう。
2. スピードを抑えて走行
島内道路は、地域の方に配慮し、スピードを抑えて走行しましょう。ゆっくり走って淡路島の色々な魅力を味わってください。
3. ヘルメットの着用
ご自身の安全のため、必ずヘルメットを着用しましょう。
4. 走行前の自転車チェック
タイヤの空気圧やブレーキ等を確認しましょう。
5. 自転車保険への加入
万一が事故に遭った時のために自転車保険に加入しましょう。
6. その他
交通ルールを守って走行しましょう。
他のサイクリストが困っていたら助け合いましょう。
地域の人に笑顔で挨拶し、交流を深めましょう。



淡路島サイクリングマップ

ビギナーからトップライダーまで満足!

兵庫県淡路県民局
一般社団法人淡路島観光協会

●淡路島飲食店情報

御食国ガイドブック 淡路島グルメガイド



淡路島 グルメガイド 検索
https://gourmet.awajishima-kanko.jp

淡路島産の食材にこだわった、淡路島の飲食店。

淡路島産食材
こだわり
宣言店

淡路の美味いものを食べ尽くす

「淡路島産食材 こだわり宣言店」とは？

淡路島産の食材にこだわって積極的に利用することを、淡路島に所在する飲食店(ホテル、旅館、民宿含む)の店主等が店舗に食材表示する事で自ら宣言している店をいいます。詳しくはHPでチェック!

淡路島 こだわり宣言店 検索
http://www.brand-awajishima.com/kodawari/about/index.html

上級 淡路島一周コース

★ ★ ★
言わずと知れた「アイイチ」
完走できたら最高の充実感を味わえる!

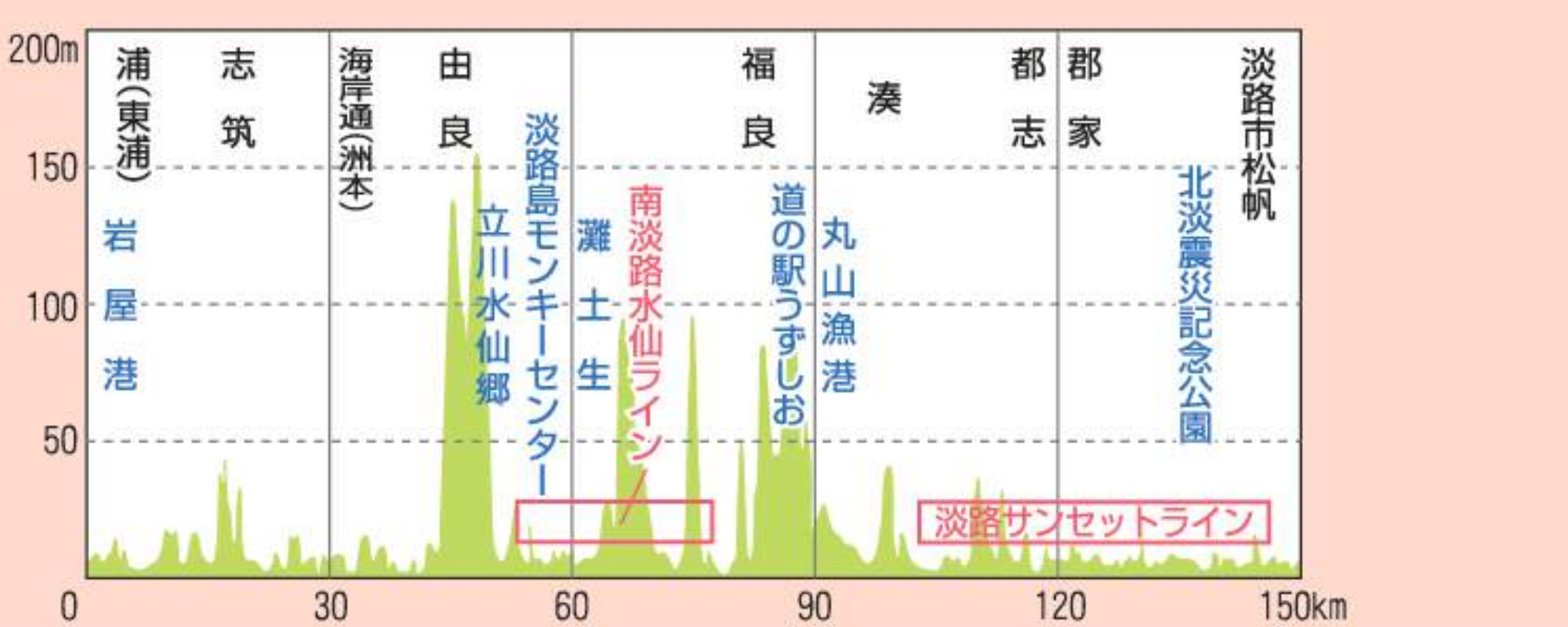


COURSE

岩屋港 ▶ 浦(東浦) ▶ 志筑 ▶ 海岸通(洲本)
▶ 由良 ▶ 灘土生 ▶ 福良 ▶ 道の駅うずしお
▶ 湊 ▶ 都志 ▶ 郡家 ▶ 岩屋港

淡路島を走るサイクリストの目標コース! 岩屋から洲本までは交通量と信号が多い国道を通りますが、由良からはアイイチの難所と呼ばれる山岳路が続きます。福良から湊にかけても海岸線のアップダウンが続く、最後の50kmは疲労との闘い。延々と続く平坦な海岸線を北上します。一泊二日での完走や、スタート地点を変えて走るのもオススメです。

距離 150km 獲得標高 1,144m
最大標高差 156m 想定所要時間 10時間



▲コース情報

初級 南海岸周遊コース

★
美しい海岸線にアップダウン
バランス抜群のショートコース!



COURSE

陸の港西淡(サイクルステーション) ▶ 福良
▶ 道の駅うずしお ▶ 丸山 ▶ 湊
▶ 陸の港西淡(サイクルステーション)

南部は美しい海岸線と人気スポットも満載です。陸の港西淡からスタートすれば、急なアップダウンものんびりクリアして日本で一番うずしおに近い道の駅「道の駅うずしお」へ。さらに大鳴門橋を望む絶景スポット丸山から津井港を通過して戻るショートコースは、初心者さんにもオススメです。

距離 36.4km 獲得標高 383m
最大標高差 119m 想定所要時間 3時間



▲コース情報

初級 イザナギコース

★
初心者やお手軽ライドに人気。歴史を誇る人気
パワースポットへ是非お立ち寄りください!

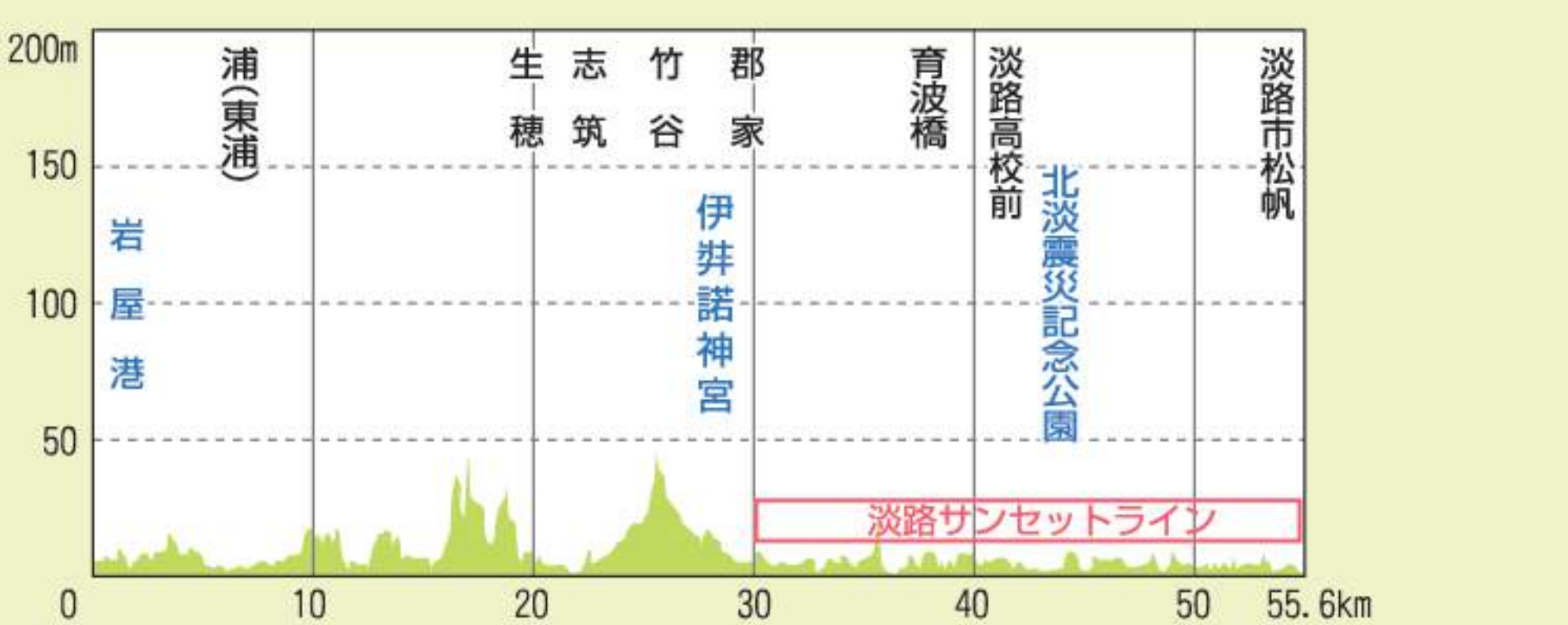


COURSE

岩屋港 ▶ 浦(東浦) ▶ 久留麻 ▶ 生穂 ▶ 志筑
▶ 伊弉諾神社 ▶ 郡家 ▶ 育波橋
▶ 淡路高校前 ▶ 淡路市松帆 ▶ 岩屋港

アイイチ同様な人気の北部一周コース。ほぼ平坦な道のりなので、初めての淡路島サイクリングにも最適です。コースの真ん中には、古事記・日本書紀に登場する神話の主人公を祀る最古の神社「伊弉諾神社」があり、パワースポットとしても大人気です。

距離 55.6km 獲得標高 220m
最大標高差 45m 想定所要時間 4時間



▲コース情報

空気入れ、修理工具の貸出情報

淡路島内の一部のコンビニエンスストア等で自転車用の空気入れと修理工具の無料貸出を行っています。
右のステッカーを対象の施設に掲示していますので、ぜひお気軽にお尋ねください。



●観光情報のお問い合わせ

- 岩屋観光案内所…………… TEL0799-72-3420
淡路市岩屋925-27(岩屋ポートビル内)
 - 洲本観光案内所…………… TEL0799-25-5820
洲本市港2番43号(洲本バスセンター内)
 - 南あわじ観光案内所……… TEL0799-52-2336
南あわじ市福良甲1528-4(なないろ館内)
- ※上記案内所では、レンタサイクルも実施しています。
詳しくは各案内所までお問い合わせください。

2022年3月発行
03淡路◎2-012A3

中級 国生みコース

★★
国生み神話のスポットを巡るコース
平坦ミドルコースに名所観光を楽しめる!

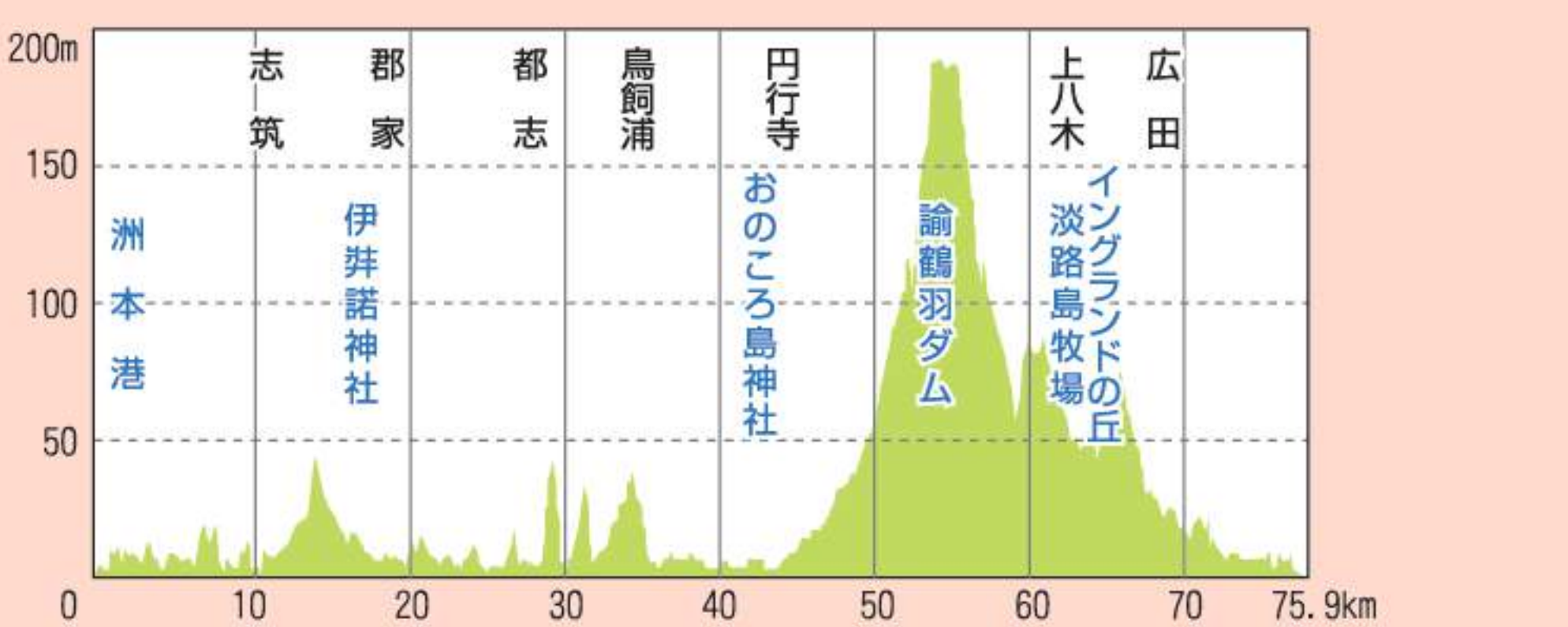


COURSE

洲本港 ▶ 伊弉諾神社 ▶ 都志 ▶ おのころ島神社
▶ 論鶴羽ダム ▶ 淡路島牧場
▶ イングランドの丘 ▶ 洲本港

淡路島は、古事記・日本書紀に出てくる国生み神話の発祥地! 日本遺産にも認定された「国生みの島・淡路」の名所を巡る淡路島ならではのコースを推薦します。ほぼ平坦なコースなので、春には見事な桜並木が見られる論鶴羽ダムにも立ち寄りつてみては? 海岸線だけではない淡路島の新しい魅力が発見できます。

距離 75.9km 獲得標高 485m
最大標高差 190m 想定所要時間 5時間



▲コース情報

上級 中級 スポット周遊コース

★★★★ ★★
淡路島のサイクリングスポットを網羅し、
目的やレベルに応じて使い方を自由自在に変えられるモデルコースです。



COURSE

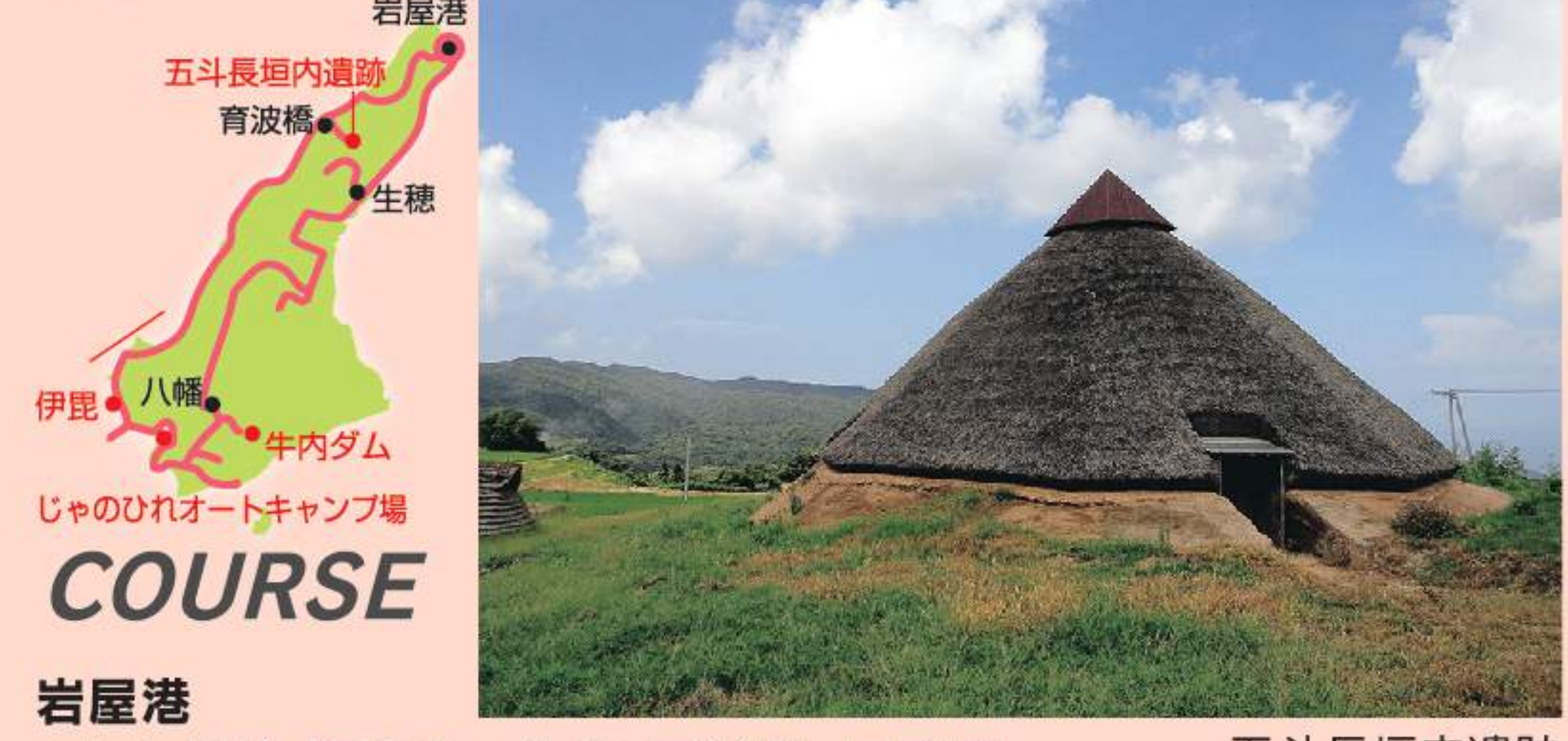
東浦BT ▶ 浦(東浦) ▶ 八淨寺(淡路島七福神)
▶ 淡路ワールドパークONOKORO ▶ 宝生寺(七福神) ▶ 海岸通(洲本)
▶ 洲本城 ▶ 阿万海水浴場 ▶ 道の駅福良 ▶ 護国寺(七福神)
▶ 万福寺(七福神) ▶ 寛住寺(七福神) ▶ 八木のしだれ梅
▶ 成相ダム・北富士ダム ▶ おのころ島神社 ▶ 淡路ふれあい公園
▶ 花立トンネル ▶ 長林寺(七福神) ▶ ウェルネスパーク五色
▶ 智禅寺(七福神) ▶ 伊弉諾神社 ▶ バルシェ香りの館
▶ 北淡震災記念公園 ▶ 東浦BT(バスターミナル)
(おすすめ宿泊地: 岩屋・洲本海岸通・洲本古茂江・福良・都志)

距離 194.5km 獲得標高 1,978m
最大標高差 892m 想定所要時間 13時間



▲コース情報

山コース



COURSE

岩屋港 ▶ ヒヤリ峠・東山寺 ▶ 先山・千光寺 ▶ 三宝院
▶ 栄福寺 ▶ 牛内ダム ▶ オニオンロード ▶ 萬勝寺
▶ 若人の広場公園 ▶ じゃのひれオートキャンプ場
▶ 道の駅福良 ▶ 道の駅うずしお ▶ 大鳴門橋記念館 ▶ 伊弉
▶ 丸山 ▶ 鹿野松原 ▶ ウェルネスパーク五色
▶ 五斗長垣内遺跡 ▶ 生福寺 ▶ 仁井(柳田)
▶ あわじ花さじき ▶ 岩屋港
(おすすめ宿泊地: 岩屋・福良・鹿野・都志)

距離 231.9km 獲得標高 3,853m
最大標高差 1,073m 想定所要時間 16時間



▲コース情報

一泊二日以上での
ロングライドがおすすめ!

一周150kmのアイイチが注目される淡路島ですが、内陸部には立ち寄りスポットや名所が沢山あります。その中でも代表的なスポットを網羅したこのコースでは、スタート地点から走りたい距離、目的地等を自由に変えられます。一泊二日以上でのロングライドにご利用下さい。
宿泊施設情報はこちら▶

想定所要時間は平均走行時速を15kmとした場合の時間です。交通渋滞・道路事情等は含まれておりません。

令和 7 年 12 月 25 日

第二次自転車活用推進計画策定にむけた今後の予定

○第二次自転車活用推進計画の策定に向けて

令和 9 年度で現行の自転車活用推進計画の計画期間が終了となるため、令和 8 年度から次期計画の策定に向けた取組を開始する。取り組みは下記の内容を予定している。

1 市民アンケートを実施（令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月）

2,000 通を想定。ランダムに抽出された市民にアンケート用紙を郵送しアンケート結果をもとに、自転車利用の現状と課題等について分析を実施する。

2 第二次計画案の策定（令和 9 年 4 月～11 月）

アンケート結果をもとに、基本方針、基本施策の内容について、推進協議会で随時お諮りしながら策定していく。

3 パブリックコメントの実施（令和 9 年 12 月～令和 10 年 1 月）

市 HP 等にてパブリックコメントを実施し、計画案に対しての意見を募集する。

4 議会報告（令和 10 年 3 月）

パブリックコメントをもとに計画案の修正を行う。
修正案を令和 10 年 3 月議会にて報告のうえ、第二次自転車活用推進計画を策定。

| 令和 8 年度 | | | | | | | | | | | |
|------------|----|----|----|----|----|-----|-----|----------|----|----|----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 市民アンケートを実施 | | | | | | | | 現状・課題の分析 | | | |

| 令和 9 年度 | | | | | | | | | | | |
|--------------|----|----|----|----|----|-----|-----|---------------|-----------|--------------|----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 基本方針、基本施策の策定 | | | | | | | | パブリック コメント | 計画案 修正 | 議会報告 計画策定 | |